

71	産業労働局	沖ノ鳥島漁業操業支援対策
事業概要	<p>沖ノ鳥島周辺海域での漁業操業支援、資源の維持増大を図るための魚類種苗の放流、漁場の開拓、漁場調査・監視を積極的に推進することにより、同島周辺海域における永続的経済活動を実現し、排他的経済水域を維持する。また、沖ノ鳥島に関するPR・普及活動を行い、都民の理解を醸成する。</p>	
これまでの経過	<p>平成16年12月 定例記者会見で知事が「日本の排他的経済水域を実証するため、経済活動としての漁業操業を東京都が支援していく。」と発表</p> <p>平成17年4月 同島周辺海域で延縄による漁業操業を開始（小笠原島漁協）</p> <p>5月 都調査指導船「みやこ」による漁場調査（4月及び5月）</p> <p>10月～11月 知事視察（現地：5月20日）</p> <p>平成18年1月 同島周辺海域の漁場等調査（委託）</p> <p>4月 沖ノ鳥島利活用連絡会の開催（庁内関係各局で構成）</p> <p>同島周辺海域で立て縄による漁業操業を開始（小笠原島漁協）</p> <p>5月 都調査指導船「みやこ」による漁場調査</p> <p>6月 都民から沖ノ鳥島に関する映像資料大系の制作費として1億円の寄付</p> <p>平成19年1月 同島周辺海域にシマアジ稚魚20万尾を放流</p> <p>1月～2月 沖ノ鳥島に関する講演会と展示の実施</p> <p>2月 国への提案要求（農林水産省、国土交通省）（6月及び11月）</p> <p>4月 大水深中層浮魚礁の設置</p> <p>5月 同島周辺海域の漁場等調査（委託）</p> <p>6月 漁業調査指導船 新「興洋」の竣工及び竣工式の開催（3月）</p> <p>11月 新「興洋」による漁場調査・大水深中層浮魚礁の効果調査（4月及び6月）</p> <p>平成20年4月 同島周辺海域にシマアジ稚魚20万尾を放流</p> <p>6月 国への提案要求（農林水産省、国土交通省）（6月及び11月）</p> <p>11月 沖ノ鳥島フォーラムの開催 ドキュメンタリー映画「奇跡の島 沖ノ鳥島」の上映</p> <p>平成21年2月 新「興洋」による漁場調査・大水深中層浮魚礁の効果調査（4月、7月、11月）</p> <p>4月 同島周辺海域にシマアジ稚魚20万尾を放流</p> <p>7月 国への提案要求（農林水産省、国土交通省）（6月及び11月）</p> <p>平成22年1月 沖ノ鳥島フォーラムの開催（船の科学館）</p> <p>2月 沖ノ鳥島映像ライブラリーのインターネット配信開始</p> <p>4月 新「興洋」による漁場調査・大水深中層浮魚礁の効果調査</p> <p>7月 同島周辺海域にシマアジ稚魚20万尾を放流</p> <p>新「興洋」による漁場調査・大水深中層浮魚礁の効果調査（4月、6月、8月）</p> <p>国への提案要求（農林水産省、国土交通省）（7月及び11月）</p> <p>沖ノ鳥島フォーラムの開催（船の科学館）</p> <p>新「興洋」による漁場調査・大水深中層浮魚礁の効果調査</p> <p>同島周辺海域にシマアジ稚魚20万尾を放流</p> <p>国への提案要求（農林水産省、国土交通省）</p>	

現在の進行状況	<ul style="list-style-type: none"> (1) 小笠原島漁協への操業支援 (18 年 4 月 ~ 立て縄による漁業操業) (2) 海洋深層水汲上装置の検討 (海洋深層水の活用及び浮魚礁との相乗効果による漁場造成の検討) (3) 沖ノ鳥島映像ライブラリーのインターネット配信 		
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> (1) 小笠原島漁協への漁業操業支援 (継続) (2) 新漁業調査指導船「興洋」による漁場の調査・監視 (継続) (3) 沖ノ鳥島フォーラムの開催 (継続) (4) 海洋深層水汲上装置の検討 (継続) (5) 沖ノ鳥島映像ライブラリーのインターネット配信 (継続) 		
問い合わせ先	産業労働局 農林水産部 水産課	電話	03-5320-4848